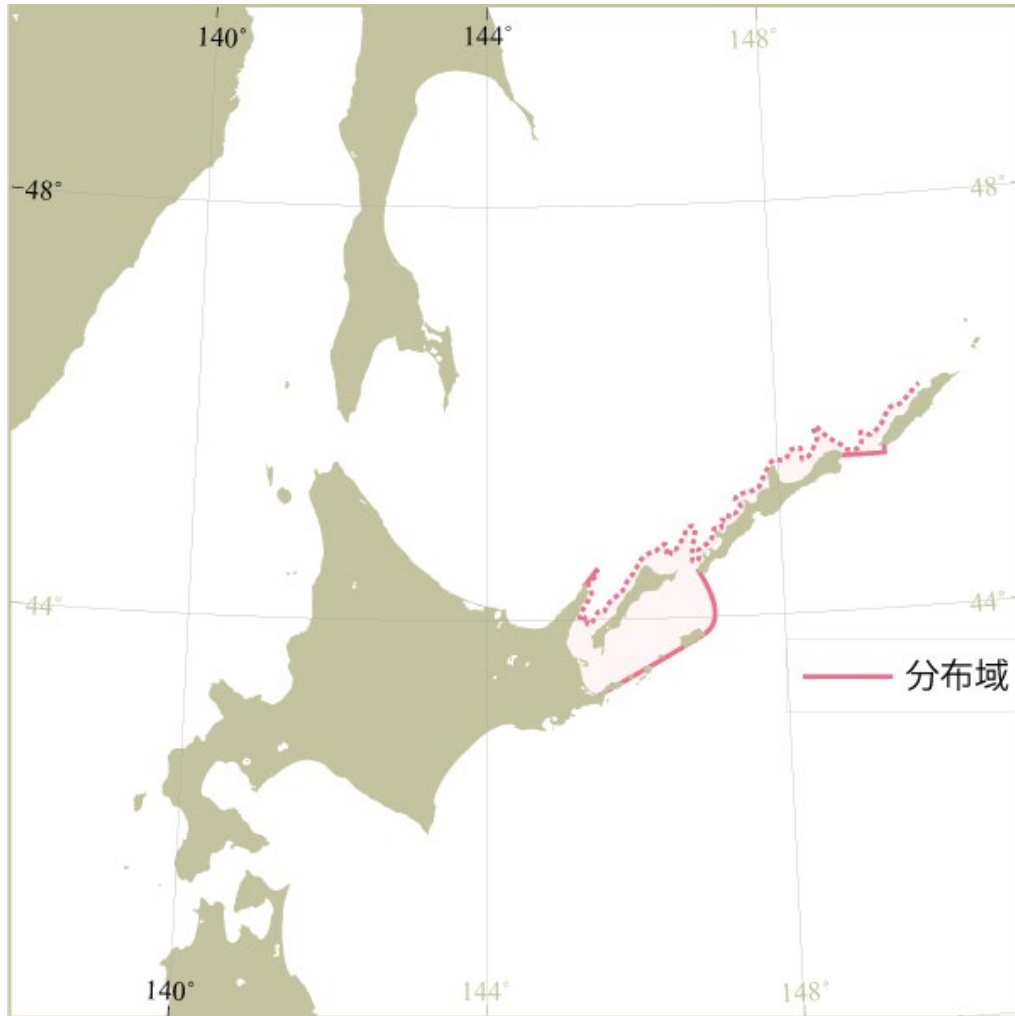




マダラ根室海峡 令和3年度資源評価結果

生物学的特性

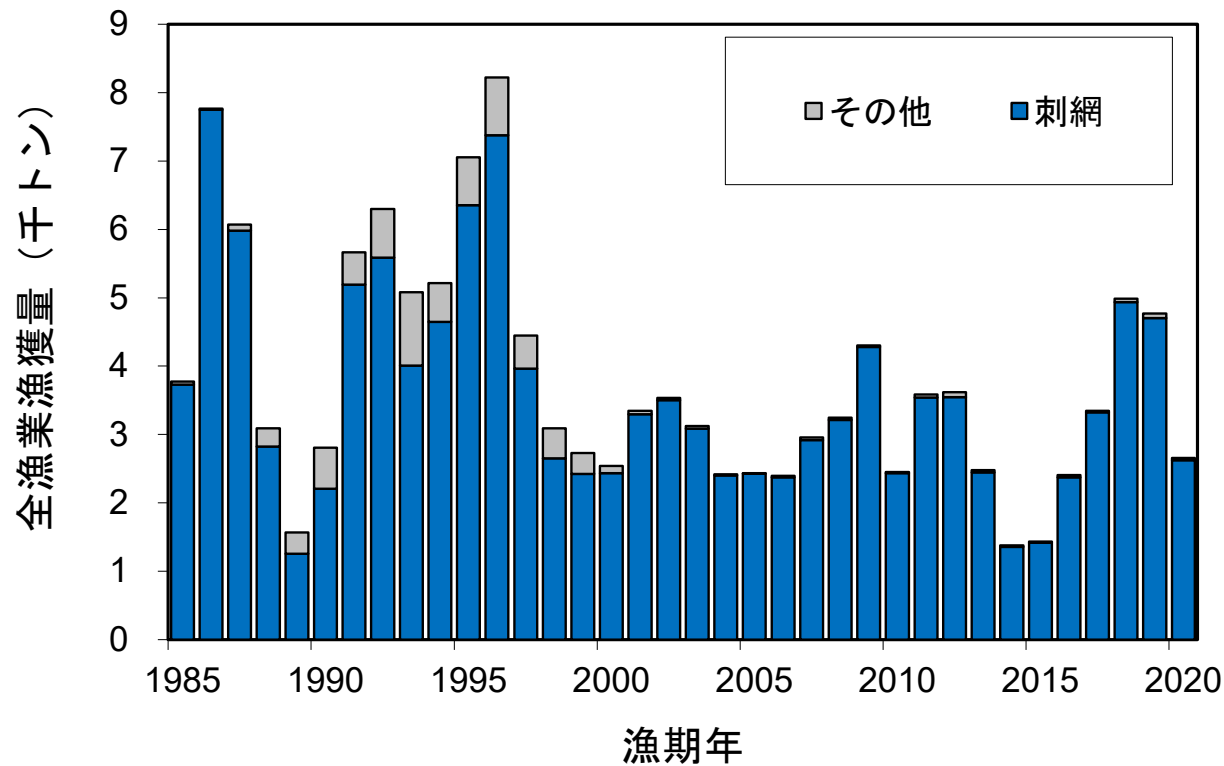


生物学的特性

- 寿命: 不明
- 成熟開始年齢: 不明
- 産卵期・産卵場: 不明
産卵場は沿岸域に散在していると考えられる
- 食性:
幼魚期は主にカイアシ類
底生生活移行後は、主に魚類、
甲殻類、頭足類、貝類
- 捕食者: 海獣類

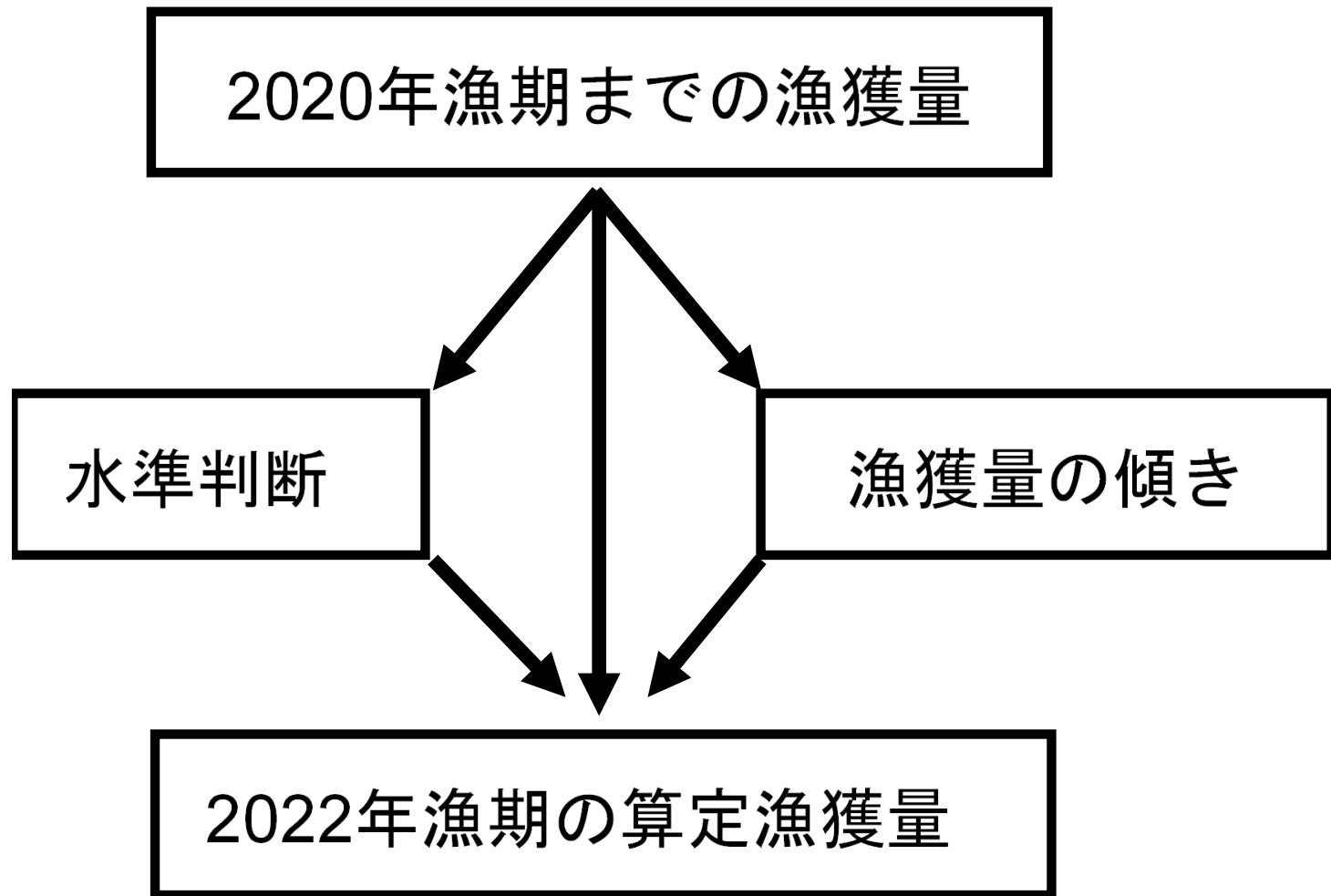
- ・ ほぼ周年漁獲されるが、冬季～春季に漁獲量が多い

漁獲の動向

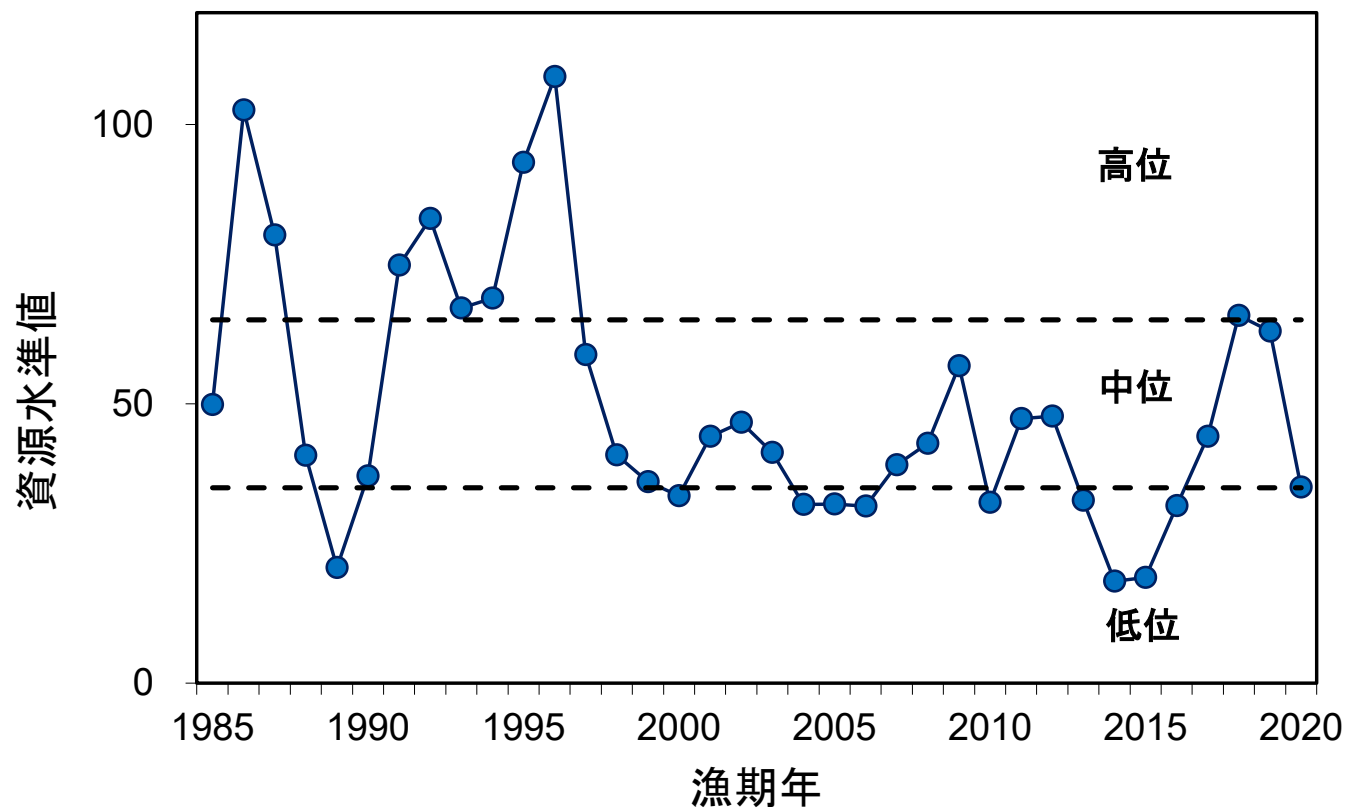


- 2020年漁期（4月～翌年3月）の漁獲量：2,658トン（2019年漁期：4,769トン）
- 沿岸漁業により漁獲され、特に刺網の漁獲が多い

資源評価の流れ



資源の動向



※水準区分 低位／中位：資源水準値35、中位／高位：資源水準値65
(1985年漁期以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の漁獲量の値を指数として算出)

- 資源水準：2020年漁期の資源水準値は35.1であり「中位」
- 資源動向：直近5年間（2016～2020年漁期）の漁獲量の推移から「横ばい」

資源評価のまとめ

- 資源水準は中位、動向は横ばい
- 漁獲量に基づいて資源状態を判断した

2022年漁期算定漁獲量

管理基準	Target/Limit	2022年漁期算定漁獲量 (百トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増減%)
0.9・Cave3-yr・0.86	Target	26	—	—
	Limit	32	—	—

- 0.9 : Cave3-yrを使用し、かつ低位水準の幅が狭くなる水準定義を使っていて、資源水準が中位である場合の推奨値
- Cave3-yr : 直近3年間（2018～2020年漁期）の平均漁獲量
- 0.86 : 漁獲量の変動で求まる係数